



ふれあい!

PTA だより第3号
令和3年(2021)12月
大阪府立箕面支援学校
PTA 広報部

役員会より



校内活動

☆10月2日(土)に行われました運動会で、参加賞としてタオルを贈呈いたしました。

☆四中交流会

10月26日(火)にオンラインで箕面市立第四中学校と箕面支援学校のPTA交流会が行われました。双方から約40名出席の中、『効率よくキレイになるキッチンお掃除セミナー』が行われました。自然派ハウスクリーニング「Happy Life」山崎由香様から、身体に比較的安全なお掃除グッズと手順について、興味深い内容をお話いただきました。

この交流会は障がい児が地域のより深い理解を得るための交流の一環で平成21年から始まっています。

両校継続への努力に感謝したいと思います。

☆12月3日(金)、4日(土)の「もみじフェスタ」でPTA主催の手作りの品バザーが開催されました。保護者の皆さまや卒業生、また卒業生の保護者の方、そしてバスの添乗員さんから、たくさんの素敵な手作りの品のご提供をいただき心より感謝申し上げます。皆さまからの温かい作品が約230点集まり、バザーの売り上げ金額は67,400円となりました。皆さまのご協力に感謝いたしますとともに全額PTA会計に計上させていただきますことをご報告します。



校外活動

☆11月19日(金)令和3年度近畿地区特別支援学校知的障害教育校PTA連合会研修会(大阪大会)に出席しました。午前の部ではコロナ禍の中、工夫されたPTA活動の紹介、午後の部は香川大学教育学部教授 坂井聡氏による「発達障害のある子どもへのコミュニケーション指導」-必要な支援と適切な指導のため-の講話「障害とは何?」「合理的配慮」などと判りやすい説明がありました。我が校の学習会でもぜひ取り入れていきたい内容でした。

☆対府懇談

12月16日(木)に、府立支援学校PTA協議会と大阪府との懇談会が大阪府立難波支援学校で行われました。2年ぶりの開催でした。詳細は3学期に別紙でお知らせいたします。

～ご案内～

2月23日(水)オンラインにて社会保険労務士、松田恵子先生による「障害年金」についての学習会を開催いたします。平日の参加が難しい方にも参加していただきたく祝日に設定しています。詳細は後日案内を配布します。ぜひご参加ください。

学校より

☆もみじフェスタへのご協力、本当にありがとうございました。

☆教育環境の維持・向上を図るため、教室のカーテンや作品展用展示パネルなど、老朽化した備品類の更新に努めてきました。本年度は、体育館の舞台幕と2回ギャラリーの暗幕、各教室のフロアマット(150枚)の更新を行います。また、「パワー自立活動」や「スヌーズレン」など、新たな取り組みの整備・充実を進めています。



実行委員会より



☆実行委員会は、概ね月に一度招集され、PTA 活動を円滑に行われるよう、連絡協議する会議です。出席者は、役員、各部門長、各委員長、学校管理職、PTA 担当役員等で成り立っています。


☆豊中支援学校の保護者との交流会を3学期に予定しています。(昨年度はコロナ禍のため中止でした)
主に中学部3年生の保護者対象の予定です。




指名委員会より



☆10月12日(火)に行われました第2回合同委員会にて、指名委員会が発足しました。




安全部より




☆10月8日(金)大阪教育大学 後藤健介准教授をお迎えして「防災学習会」をオンラインにて行いました。災害が多い昨今、防災意識を高める良い機会になったと思います。ご参加いただきました皆さま、ありがとうございました。

☆もみじフェスタ開催時、「非常用持出袋」の展示を行いました。

☆「非常用持出袋」はいつでもお預かりいたします。それぞれに適した準備の上、提出していただきますようお願いいたします。




教養部より




☆今年も講演会は開催せず、学習会のみで開催となりました。また来年以降、開催できる日を楽しみにしております。

☆今年も、皆さまのご協力のもと、ベルマーク50万点達成！ベルマーク教育助成財団より立派な額入り表彰状をいただきました。校長先生にお渡ししましたら、さっそく学校に飾ってくださるそうです。カートリッジも、たくさんご協力いただいたので12月中旬頃にメーカーに送る予定です。また引き続き、皆さまのご協力をよろしくお願いします。




厚生部より




☆10月27日(水)厚生部 学習会をオンラインにて開催いたしました。講師は千住真理子さん。先生からいただきました資料から、心に残る一文を紹介させていただきます。

- ・どんな障がいの重い生徒でも思春期はある。からだの変化が先に起こり、心も変化する。
- ・障がいのある子は育ちの中で怒られることも多く、また、出来ないことが分かっている子も多いので自己肯定感が低い子が多いです。自己肯定感を育てて欲しいのです。「ありがとう」をたくさん言われている子は、どんな時に「ありがとう」を言うか理解し、自分で使えるようになります。人に「ありがとう」と自分から言える人は、人間関係が上手くまわります。「ありがとう」と言われて怒る人はいません。「ありがとう」は心を育て、人と繋がる言葉です。
- ・彼らにも失敗をする権利があります。失敗を失敗ととらえない支援を考えていきたいものです。反抗しだしたら「いよいよ我が子も大人への道を歩みだした」と応援してあげてくださいね。言葉で上手く伝えられない子どもたちです。行動での表現もあるでしょう。そういう時は福祉の制度を使って少しずつ距離を取っていきましょう。他人に我が子を委ねていきましょう。障がいのある子どももいずれ大人になり親を乗り越えていきます。大人になったことを喜べる保護者であってくださいね。

その他2時間では足りない程のお話をさせていただきました。私も障がい者を持つ親として毎日、目の前のことをこなすだけで精一杯の日々であります。この学習会での千住先生のお話を改めて聞かせていただき、ハッとさせられる場面が何度もありました。「大人になったことを喜べる保護者」でありたいと心から思いました。
☆来年1月か2月頃に第2回子育て支援caféを開催予定です。またご案内させていただきますのでお気軽にご参加ください。



広報部より



☆次回、ふれあい第4号は3月発行予定です。

